

本日は、「ご縁の国」島根の観光PRキャンペーンの発表会を開催いたしましたところ、多くのメディアの皆様にお出でいただき、誠に有難うございます。

まず始めに、島根が何故「ご縁の国」か、ということを少しお話しさせていただきますと、出雲大社には、「縁結びの神様」大国主の命がまつられています。

この大国主の命は、天照大御神の弟、スサノオの命の子孫であります。

スサノオの命は、天上界で乱暴するので天上界を追放され、出雲の地に降りてこられて、「オロチ退治」などされるのでありますが、その子孫の大国主の命は、賢い神さまでありまして、出雲を中心とし地上界で米作りなどを普及・発展させて豊かな地にされるのであります。

天照大御神は、この豊かな地上界を見て、自分の子孫、即ち天皇家の祖先にこれを譲ってくれないか、と大国主の命に迫ります。

大国主の命は平和を愛する神さまで、「地上界はお譲りしましょう。その代わり天にとどくような『大きな社』を作って、私を祭ってくれるのであれば、私はこの地上の世界から身をかくして、目に見えない世界を支配することとしまししょう」と、身を引かれたのであります。

それでできたのが「出雲大社」なのです。

この「人の目に見えない世界」が、「縁」といった人にはわからない、予測がつかない世界なのです。

旧暦の10月は全国から神々が出雲大社に集まって、男女の縁だとか、親子、友達、仕事など様々な「ご縁」をどのような結びつけようか、という相談が神々の間で行われるのであります。

そこで、出雲以外の地では、神さまがいなくなつて「神無月」、即ち「神無月」となり、島根・出雲では神々が集まりますから、「神在月」と呼ばれるのであります。

昨年は、出雲大社では、60年に一度の大遷宮で、多くの方々にお出でいただきました。実は、この大遷宮は、本殿だけでなく、多くの建物の修繕があり、平成28年3月まで続くのであります。

今後も多くの皆様に島根にお出でいただきたいと思い、こうしてキャンペーンを行っているのであります。

今年の10月には、高円宮家の次女典子様と出雲大社禰宜 千家国麿様とのご結婚式も執り行われます。

島根には、出雲大社のほかに、八重垣神社などの「ご縁スポット」や須佐神社などの「パワー・スポット」などが沢山あります。

さらに、世界遺産の「石見銀山」、隠岐の「世界ジオパーク」、森鷗外生誕の津和野など、豊かな自然や古き歴史・文化など見るところがいろいろあります。

今年は、全国の皆様に良いご縁を結ぶため「ご縁休暇」を取って島根にお出でくださいませんか、と呼びかけております。

県民をあげてのおもてなしを行ってまいりますので、どうぞ、宜しくお願い申し上げます。